

# 沿革

昭和 8年12月	阿賀川水系発電ダム建設による魚族補殖用として、東信電気(株)が会津若松市に建設した施設を県が譲り受け、県営会津養魚場として開設。
昭和33年 4月	只見川電源開発に基づく新たな漁業対策である阿賀川水系魚族補殖事業の一環として、国、電力3社の協力を得て、県営会津養魚場を増改修して本場とし、下郷町に左走分場(マス類)を建設して、内水面水産試験場を開設。
昭和40年 2月	猪苗代湖、裏磐梯3湖(檜原、秋元、小野川)のエゾイワナ、サクラマス資源の増殖を図るため、国の補助を得て苅屋沢ます孵化場を建設。
昭和40年 4月	福島市瀬上の信夫養魚場を水産課より移管。
昭和45年 3月	会津若松市より全面移転するため、猪苗代町長田に敷地59,784㎡を購入。
昭和45年 5月	環境悪化のため信夫養魚場を廃止。
昭和48年 7月	猪苗代町敷地造成工事着工(昭和50年3月完了)
昭和51年 5月	本館落成。
昭和51年10月	会津若松市旧本場より全面移転。新本場において業務開始。
昭和51年12月	下郷町にあった左走分場を廃止。
平成 5年 3月	バイオテクノロジー研究棟落成。
平成10年 3月	イワナ、ヤマメ種苗供給中止に伴い、苅屋沢ます孵化場廃止。

# 本館外観

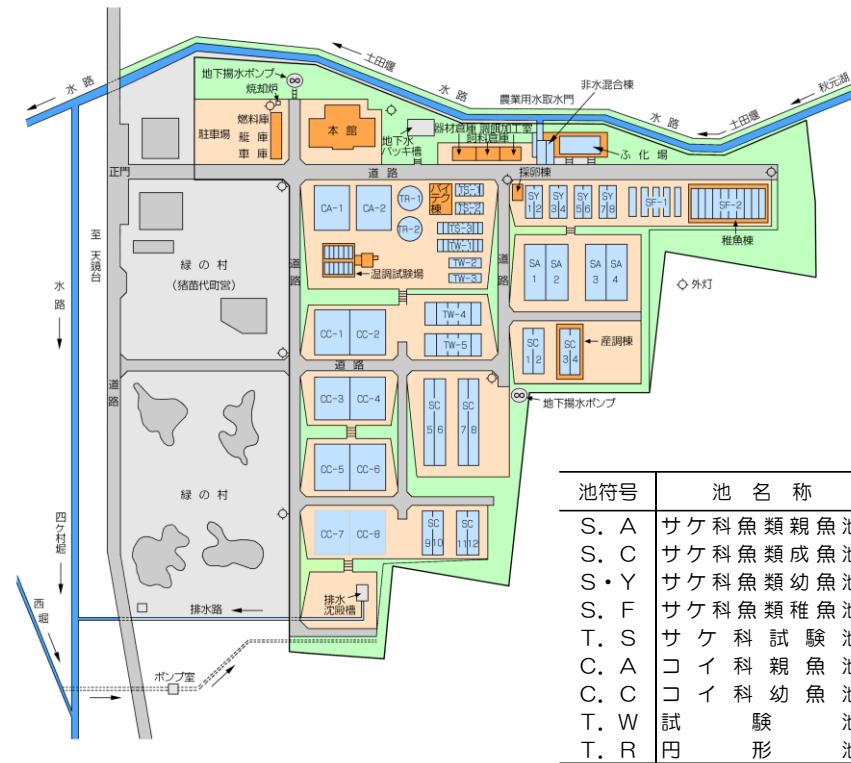


# 組織

場長(1名) — 事務部(2名)  
 生産技術部(4名)  
 調査部(4名)

# 施設

## 場内平面図



## 位置図



# 要 覧



## 福島県内水面水産試験場

Fukushima Prefectural Inland Water Fisheries Experimental Station  
 〒969-3283 福島県耶麻郡猪苗代町大字長田字東中丸3447-1  
 TEL 0242-65-2011 FAX 0242-62-4690  
 HP <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37400a/>  
 E-Mail [naisuimen@pref.fukushima.lg.jp](mailto:naisuimen@pref.fukushima.lg.jp)



## 生産技術部の業務

魚の養殖に関する調査・研究を行っています。

- ・サケ科、コイなどの養殖業者等を対象として飼育技術を指導しています。
- ・養殖魚の品質向上のためバイテク技術を使った種苗生産研究を行っています。
- ・当場でこれまで、生産してきた有用な形質を持つ魚の定期的な継代を行っています。
- ・県内の河川、湖沼向けの放流種苗や民間で生産の困難な養殖魚(会津ユキマスなど)の生産と供給を行っています。
- ・魚病の診断や予防・治療に関する調査研究・指導を行っています。



フナのホルモン投与による採卵技術の指導

湖沼型サクラマス

## 調査部の業務

川や湖の魚の保護や増やし方に関する調査・研究を行っています。

- ・アユ、ワカサギ、ヒメマス等の効率的な増殖手法についての研究を行っています。
- ・外来生物法に定められた特定外来生物(オオクチバス、コクチバス、ブルーギル等)を対象に駆除技術の開発、普及を行っています。
- ・魚類の繁殖分布に影響を与える河川横断構造物(堰、落差工など)の状況を調査するとともに、あわせて附属する魚道の機能について評価しています。
- ・県内河川・湖沼における魚類の生息状況を調査し、漁場環境のモニタリングを行っています。



定置網によるワカサギ親魚の採捕

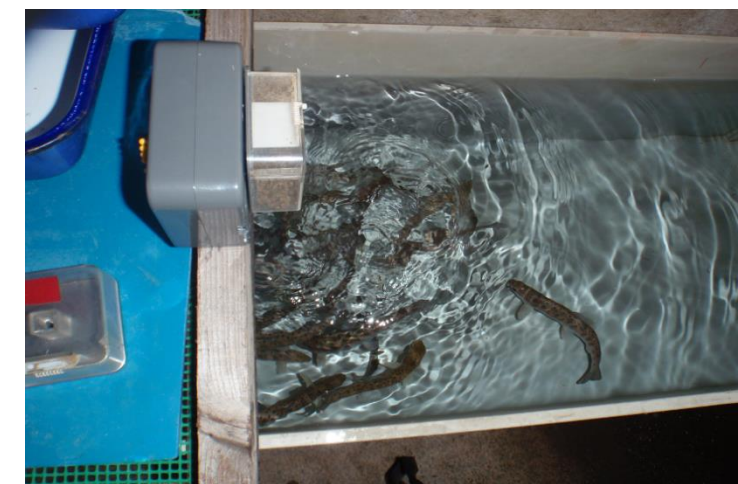
刺し網による外来魚駆除

## 放射性物質が内水面漁業に与える影響調査

内水面魚類の緊急時モニタリング調査を行うとともに放射性物質の蓄積・排出や低減技術の開発に向け調査・研究を実施しています。



緊急時モニタリング調査(イワナ)



飼育試験による蓄積・排出研究(ヤマメ)



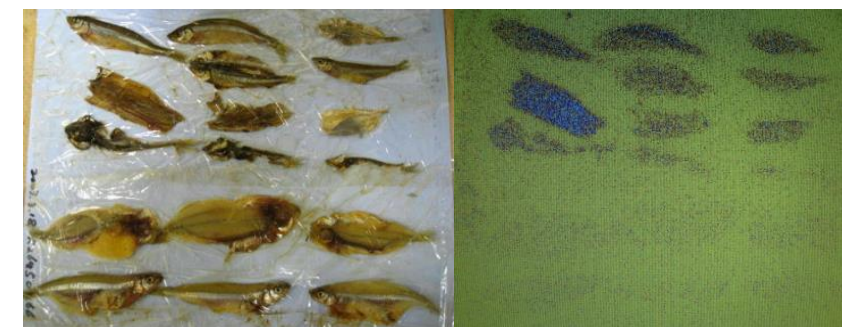
会津ユキマス親魚の熟度鑑別

コイのKHV検査  
PCRによる電気泳動



河川構造物調査

魚類相調査



体内移行過程の解明(ワカサギ)